

事業所名	グループホーム 福寿万記の里
日付	2009/3/30
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員 介護福祉士 社会福祉主事 認知症ケア専門士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の暮らしを大切にされた支援が行われており家庭的な環境づくりに取り組んでいる。天気の良い日は入居者一人ひとりの布団を順番に干して気持ち良い安眠の支援と健康・衛生・感染予防への配慮がされている。 ・ 日常生活動作（食事・入浴・排泄等）の自立を促し見守りながら待つ介護と自己決定を大切にされた介護に努め、共同生活の中でその人らしさを大切にされたケアがされている。 ・ 職員間のコミュニケーションが取れており管理者と共に入居者の日常生活の自立支援に努めている。 ・ 地域に根ざしたグループホームとしてカルチャールームを備え、数々の催し・慰問などの公演・カラオケなどさまざまな交流の場として地域交流に役立っている。 ・ 食を大切にされた支援が行われており、家庭的な和食を中心に「お造り」など新鮮な魚や季節の食材を使った料理で食べる楽しみへの支援に努めている。家族からの声も栄養のバランスもよく手作りで、衛生面でも安心して喜ばれている。 <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特に改善の余地はありませんがこれからもサービスの質の向上に向けて研鑽されホーム機能の地域への還元へ発展される事を願っています。</p>
--

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	福寿万記の里の理念、1、尊厳の確保 2、施設は家庭 3、規律の遵守の元、その人らしさを大切にされた支援で自立を促し、家庭的な雰囲気づくりに努め、安心して暮らせるホームを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	共有の生活空間では入居者同士や職員と一緒に楽しい時間が過ごせる様にプライバシーに配慮した支援を心掛けている。ユニット毎に特性を持ち、居室は使い慣れた家具や装飾品でその人らしい環境がされており家族の写真を飾って家庭的な雰囲気づくりに努め、絵の具、書道、琴など趣味の時間も大切にされた生活の場づくりに努めている。また、食事も手作りで食器など家庭的な雰囲気を大切にされた支援に取り組んでいる。		

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	ユニット毎に家族と相談しながら入居者の性格・生活歴等の情報を得ながら残存機能を活かしたケアを目指し、日常生活のさまざまな場面（起床・整容・食事・排泄等）自立を促し見守りながら尊厳を大切にされた暮らしへの支援に取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	地域にある地域密着型居宅介護事業所等での勉強会と各種の研修会へ参加して情報の収集・交換に努めている。事業所内での問題点や困難事例の検討会を通して日々のサービスの向上に努めている。また、地域に開かれた施設として運営推進会議の充実（回数を増やす）による取り組みも検討している		